



ごみ減量・リサイクル通信

発行 青梅市環境部清掃リサイクル課

〒198-8701 青梅市東青梅 1-11-1 ☎0428-22-1111

雑がみ収集袋を全戸配布します！

青梅市では「燃やすごみ」に何が含まれているか調査を行っています。

その結果、「紙類」が多く占めていることがわかっています。

そこで、雑がみを資源ごみとして出してもらうため、分別を習慣化してもらえよう、

3月に「雑がみ収集袋」をごみ収集カレンダーと一緒に全戸配布します。

なお、雑がみとして出せるもの・出せないものがありますのでご注意ください。



◎雑がみとして出せるもの

- ・紙箱、菓子箱、ティッシュ箱
- ・包装紙 ・雑誌、書籍
- ・紙袋、割り箸の袋
- ・はがき ・封筒
- ・メモ用紙
- ・トイレットペーパーの芯
- ・名刺、シュレッダーくず など



◎雑がみとして出せないもの

- ・圧着はがき (親展はがき)
 - ・粘着物の付着した紙 (宅配伝票など)
 - ・インクジェット写真プリント用紙 ・感熱紙
 - ・防水加工された紙 (紙コップ、紙製のヨーグルト容器など) など
- ⇒これらは資源になりませんので、燃やすごみとして出してください。



～ 使い方 ～

1 雑がみを収集袋にこまめに入れていきます。
※箱状のものは折り畳んでから入れるとすっきり収まります。

2 集まった雑がみは、収集袋から出して、ひもでまとめて縛るか、ご家庭にある不要な紙袋に移し替えます。

※「雑がみ収集袋」は保管用の袋です。繰り返しご活用ください。(この袋で排出することもできます。)

< 捨て方 >

- ・毎月第2水曜日の「雑誌・雑がみ」の回収日にご自宅から出す。
- ・地域の団体等が実施している資源回収に出す。(回収日等は各団体へご確認ください。)

※捨てる際に「雑がみ収集袋」に入れて出さないといけないわけではありません。ご自宅にある紙袋やひもで縛るなどして出すこともできますのでご注意ください。



☆限りある資源の有効活用のため、ご協力お願いいたします。

◎紙ひもを無料配布します！

雑誌・雑がみを出す際に、ひもで縛って出している方もいるかと思いますが、そのひもは紙製のものでしょうか？紙製のひもなら雑誌・雑がみを含めて全て資源となります。

下記の場所で紙ひもを無料配布 (お一人様 3 個まで) いたしますので、ご利用ください。

配布場所：清掃リサイクル課 (市役所 5 階)
リサイクルセンター、各市民センター
配布期間：無くなり次第終了



雑がみから「雑がみリサイクル袋」を作ってみましょう！

雑誌・雑がみを出す際に、紙袋がご家庭にないという方もいるかと思いますが、その際は、雑がみから紙袋を作ることができますのでチャレンジしてみてください！作り方は青梅市公式動画チャンネル (YouTube) で動画を公開していますので、ご覧ください！

QR コード：
URL : <https://youtu.be/MgKY9adV9Hs>



ごみは朝 8 時までに自宅敷地内の道路に面した場所または決められたごみ集積場所に出しましょう！



スプレー缶などの捨て方

青梅市では、スプレー缶やカセットコンロ用ガスボンベは火災や爆発事故の恐れがあるため、捨てる際はなるべく中身を使い切ってから、**穴はあけない**で、ご家庭にある透明か半透明の袋に入れ「有害ごみ」として出すようになっています。

ただし、やむを得ず、中身が残っている場合は「残有り」などの貼紙をしてから出すこともできます。捨てる際は、事故がないようにくれぐれもご注意ください。

なお、青梅市ではスプレー缶などの「有害ごみ」が「燃やさないごみ」に混入されていたことで毎年のように火災が起きています。下記の写真は平成28年6月3日（金曜日）に「燃やさないごみ」を回収していたごみ収集車で起きた火災で、原因はカセットコンロ用ガスボンベが混入されていたことでした。ただ、中身を確認するとスプレー缶も混入されており、もしかするとさらに大きな火災や爆発が起きていた可能性もあります。また、この火災以降も同様の事例が起きています。

スプレー缶やカセットコンロ用ガスボンベ、ライターなどの「有害ごみ」は絶対に「燃やさないごみ」に入れないでください。ご協力をお願いします。



積んでいたものを全て出して
消火活動および原因の追究を行います。



原因と思われるカセットコンロ用ガスボンベ。
爆発した影響で焦げてしまっています。



ペットボトルの出し方

ペットボトルは、繊維類やペットボトルなどにリサイクルされていますが、リサイクルするにはなるべく同じ材質のものを集める必要があります。そのため、ラベルやキャップを外し、中身を水洗いし、なるべくつぶして出すようご協力をお願いします。

なお、ペットボトルを出す際は、袋には入れずにバケツや箱などの容器に入れ、午前8時までに道路に面した敷地内または決められた集積場に出してください。

外したキャップとラベルについては、「容器包装プラスチックごみ」として出してください。

①キャップを外す



②ラベルをはがす



③中を水洗いする



④つぶす



※経済産業省 HP <http://www.meti.go.jp/> よりイラストを加工して使用

ガラス・陶磁器の出し方

平成30年4月から、更なる資源化の推進を目的としてガラス・陶磁器の戸別収集を開始しました。
下記について、再度分別の徹底にご協力ください！

①ガラスの戸別回収

月の**第1・3・5週**に収集していますので、バケツや箱などの容器に入れて、午前8時までに出してください。
なお、割れたガラスについては透明または半透明の袋に入れてから、容器に入れて出してください。

～注意!!～

- 下記のはガラスとして出せませんのでご注意ください！
 - ※網入りガラス、合わせガラス、重金属類等を含むガラスなど
 - ※割れたピン（ピンの回収日に出してください）
 - ※1辺が30cmを超えるもの（粗大ごみとして出してください）



②陶磁器の回収

月の**第2・4週**に収集していますので、バケツや箱などの容器に入れて、午前8時までに出してください。
なお、割れた陶磁器については袋に入れず、そのまま容器に入れて出してください。

～注意!!～

- 下記のは陶磁器として出せませんのでご注意ください！
 - ※七輪、レンガ、瓦、タイル、流し台、洗面台など
 - ※1辺が30cmを超えるもの（粗大ごみとして出してください）



☆なお、**ガラス・陶磁器**については、リサイクルセンターでの持込みによる無料回収も行っていますのでご利用ください。

ごみ出しQ&A



Q1 いつも午後の収集なのに、今日は午前に来て、ごみ出しが間に合わなかった。

A1 収集時間は天候、ごみの排出量、道路状況等により変わってきます。必ず午前8時までに出してください。

Q2 ごみ袋に入るごみなら、どんな大きさでも入れていいですか？

A2 「燃やすごみ」は50cmまで、「燃やさないごみ」は30cmまでが上限です。これより大きいと、処理をする機械が故障や停止してしまうことがあります。これらの基準より大きいものは「粗大ごみ」として出してください。

Q3 おむつはどのように出せばいいですか？

A3 汚物を取り除き、透明か半透明の袋に入れて「燃やすごみ」の日に出してください。



Q4 傘はどのように出せばいいですか？

A4 袋からはみ出しても構いませんので、「燃やさないごみ」で出してください。
自転車の空気入れ、ハンガーも同様です。



Q5 道路や公園などに落ちているごみや枯葉を掃除したいのですが、どうすれば良いですか？

A5 市では、公共の場所の清掃をして出たごみを排出するためのボランティア袋をお渡ししています。
清掃リサイクル課（市役所5階）、リサイクルセンター、各市民センター、総合体育館の窓口で申請してボランティア袋を受け取ってください。



平成30年度小学生ごみ減量化・資源リサイクル推進作品コンクール

キャッチフレーズ部門最優秀賞

『リサイクル 小さな一歩 家庭から』

長谷見 侑大さん（第七小4年生）



粗大ごみ「自宅回収」のお申し込みは ☎ 0428-23-5805（※お掛け間違いの無いようご注意ください）

青梅市のごみ処理費用は？

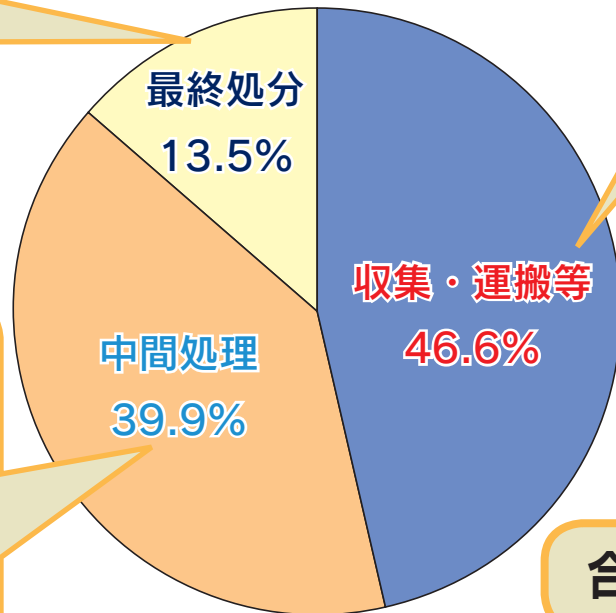
平成29年度 ごみ処理経費の内訳

3億4,356万円

- 東京たま広域資源循環組合（最終処分場）負担金 3億3,385万円
- 有害ごみ対策経費 971万円

10億1,436万円

- 西多摩衛生組合（焼却施設）負担金 6億7,946万円
- リサイクルセンター管理・施設整備経費等（燃やさないごみや容器包装プラスチックごみの選別処理など） 3億3,490万円



11億8,450万円

- 収集・運搬委託料等 9億8,197万円
- 廃棄物対策費（資源回収、ごみ収集カレンダー、施設見学会、ごみ情報誌発行等のごみ減量対策費など） 2億0,253万円

合計 25億4,242万円

平成29年度の青梅市におけるごみ処理経費は25億4,242万円かかっており、一般会計（歳出）に占める割合は5.2%です。

市民1人あたり年間
18,791円

1世帯あたり年間
40,548円

ごみ1kgあたりの経費
69円

環境美化委員の活動について



環境美化委員とは、環境美化指導員と環境美化推進員から構成されており、ごみの適正処理、ごみの減量等に熱意と見識を有する市民の方の中から、自治会の推薦にもとづき、市から委嘱を受けた約700の方々皆さんが住まわれている地域の環境美化にご尽力いただいています。

主な活動としては、毎年、春と年末の2回「市内一斉美化デー」として公共空間の一斉清掃を実施しており、昨年12月に行った「年末市内一斉美化デー」では、環境美化委員およびその他の方など合計1,131人が参加し、清掃を行っていただきました。また、7月および8月には「河川ごみ減量要請事業」としてバーベキュー客へごみ持ち帰りの呼びかけや河川の清掃を行い、3月にはごみの収集日が記載された「青梅市ごみ収集カレンダー」の全戸配布などの活動を行っています。

なお、青梅市では毎月第2日曜日を美化デーと定めており、各種団体が公共の場所の清掃や除草などを行っています。皆さんも環境美化活動にご理解とご協力をお願いします。

食品ロス削減のお願い

日本では、本来食べられるにも関わらず捨てられる食品ロスが年間約646万トン（農林水産省および環境省平成27年度推計）も発生しています。これは国民1人1日当たり、おおよそ茶碗1杯分のご飯を捨てている量に匹敵します。

【食品ロスを減らすために「残さず食べよう！30・10運動」にご協力ください！】

宴会時における食品ロス削減の取組みを「残さず食べよう！30・10運動」といいます。

★乾杯後30分間は席を立たずに料理を楽しむ

⇒幹事の方は宴会開始時に、参加者皆さんに30・10運動についてお知らせして、まず開始30分間は目の前にある料理を楽しんでもらうようにアナウンスをしましょう。

★お開き10分前になったら、自分の席に戻って、再度料理を楽しむ

⇒宴会終了10分前になったら、皆さん自分の席に戻り、料理を楽しんでもらうように幹事の方からアナウンスをしましょう。

【フードドライブにご協力をお願いします！】

青梅市ではフードドライブ（家庭で余っている食べ物を持ち寄り、集められた食べ物をフードバンク等に寄付する活動）を実施しています。詳細は市ホームページ等をご覧ください。



リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

使用済み小型家電は市役所、リサイクルセンター、各市民センター、総合体育館に設置している回収ボックスにお入れください！